

**【新しい学習環境で育みたいもの】**

すでにお耳に入っているかと思いますが、昨年末に生徒用の机と椅子が新調されました。古いものですと「昭和」のシールが貼られていて、机の表面に傷があったり脚がゆがんでいたりしていたものも少なくなく、不便に思う生徒もいました。新調された机の面は、タブレットを置いても不自由しないよう広がっています。さらには写真にあるような黒板投影型プロジェクタも設置されました。タッチペン対応で、投影された画像を操作するだけで様々に機能するタイプです。このような学習環境を整備していただいたあわら市には、心から感謝しています。



生徒の学習環境をここまで整備している市町は、県内でも多くありません。今後は、これらの設備を大切に使用していきたいと思っています。

さて、学校は、授業や教育活動などをおして様々な力と心情を育みます。今回の学習環境の充実の機会も大事にしていきます。

**「公共物を大事にする心情（公德心）を育む」**

机上でプリントに字を書くとき、机の表面が傷だらけでは書きにくいはずですが、生徒たちが今まで不便に感じていたのはこういうところでした。さらに残念なのは、これらの多くが昔の在校生によって故意につけられた傷ではないかと思われるものであったということです。イニシャルだったり、画鋏でも刺したかのような穴だったり…。当たり前ですが学校にある設備は、すべて公共物です。これから10年20年先の生徒たちのものです。そんなことを生徒に考えてもらいたいと思うのです。

**「人と議論する学び方を学ぶ」**

タブレットが配付され、授業スタイルも変わりつつあります。今までは先生からの指示で進んでいた学習内容も、個別に課題を見つけ、一人一人の意欲によって進む授業スタイルに変わってきています。さらには、仲間と議論しながら思考を深める活動も充実してきました。この議論をするときに、今回整備されたプロジェクタは大きな役割を果たすことでしょうか。生徒の考えを、大画面で提示できること、また直接、画面に書き込むことができること。このような機能と大きな画面は、今までのテレビ型モニタでは実現できませんでした。おそらく今の生徒たちが社会に出るころには、多くの企業でこのようなデバイスを用いて経営方針などが話し合われるでしょう。ぜひとも生徒たちに使いこなしてほしいと思います。

このように学校の学習環境は充実しています。それらを大いに活用した授業を進めていきたいと思っています。